

令和元年度 事業報告書

〔 平成 31 年 4 月 1 日から
令和 2 年 3 月 31 日まで 〕

公益財団法人 神奈川県下水道公社

令和元年度事業報告書

1 概要

当社は、下水道公社定款に基づき、流域下水道及び流域関連公共下水道の維持管理に関する業務のほか、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究を行い、県及び市町の下水道事業に協力し、もって県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与し、公衆衛生の向上及び環境保全を目的として事業を行いました。

事業の実施にあたっては、「公益財団法人神奈川県下水道公社第6期経営改善計画」に基づき、効率的な運営に努めると共に、より一層の経費の削減に取り組みました。

2 受託事業

神奈川県が設置する流域下水道の処理施設の運転操作等維持管理業務及び流域関連公共下水道の水質分析等技術的業務を受託し、創意と工夫をもって主体的に業務に取り組み、県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与するため、次の事業を行いました。

(1) 流域下水道の下水処理等維持管理事業

神奈川県から相模川及び酒匂川流域下水道の下水処理等維持管理業務を受託し、下水処理場施設、幹線管渠及び関連するポンプ場施設等の維持管理を行いました。

ア 主な維持管理施設等の概要

主な下水道維持管理施設等は、次表のとおりです。

(令和2年3月31日現在)

流域・処理場 施設・設備等	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳島	酒匂	扇町
敷地面積	26.9 ha	19.6 ha	9.8 ha	7.0 ha
水処理施設 (施設能力 日最大)	6系列 (322,800m ³ /日)	9系列 (539,100m ³ /日)	3系列 (108,000m ³ /日)	2系列 (56,480m ³ /日)

流域・処理場 施設・設備等	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳 島	酒 匂	扇 町
汚泥脱水設備	ベルト 4台 遠 心 2台 スクリュウ 1台	遠 心 3台 ロータリー 1台 スクリュウ 3台	スクリュウ 4台	ベルト 2台 スクリュウ 1台
汚泥焼却設備 (処理能力 計)	3基 (320 t / 日)	4基 (660 t / 日)	1基 (60 t / 日)	2基 (60 t / 日)
幹 線 管 渠	37,960 m	89,600 m	26,920 m	19,340 m
ポ ン プ 場	2 箇所	6 箇所	1 箇所	—
上 部 利 用 施 設	四之宮ふれあい広場 5.25 ha	※茅ヶ崎市へ 管理移管	酒匂きらり広場 1.3 ha	扇町しらさぎ広場 1.2 ha

(注) 汚泥脱水設備欄に記載している「ベルト」等の名称は、次の脱水機の種類を表す。

- ・「ベルト」：ベルトプレス脱水機
- ・「遠 心」：遠心脱水機
- ・「スクリュウ」：圧入式スクリュウプレス脱水機
- ・「ロータリー」：回転加圧脱水機

イ 下水処理

(ア) 流入下水量

相模川及び酒匂川流域下水道の流入下水量は、次表のとおりです。

流 域	処理場	流入下水量 (m ³)		増減 (前年比%)
		令和元年度	平成 30 年度	
相模川	四之宮	86,316,360 (235,840)	82,738,790 (226,680)	3,577,570 (104.3%)
	柳 島	153,183,560 (418,530)	148,985,650 (408,180)	4,197,910 (102.8%)
	計	239,499,920 (654,370)	231,724,440 (634,860)	7,775,480 (103.4%)
酒匂川	酒 匂	31,226,070 (85,320)	31,226,210 (85,550)	△140 (100.0%)
	扇 町	15,598,850 (42,620)	14,290,190 (39,150)	1,308,660 (109.2%)
	計	46,824,920 (127,940)	45,516,400 (124,700)	1,308,520 (102.9%)
合 計		286,324,840 (782,310)	277,240,840 (759,560)	9,084,000 (103.3%)

(注)・流入下水量は年間の数量で、() 内の数字は日平均水量を示す。

・酒匂流域は、左右岸の相互運用後の数値を示す(扇町水再生センターへ 773,300m³送水)

(イ) 流入水及び放流水の水質測定結果

流入下水を処理するにあたっては、標準活性汚泥法により適切に処理し、全て法で定める排水基準値以内で処理することができました。

a 相模川流域下水道水質測定結果

処理場 主な項目		四之宮		柳島		排水基準
		流入水	放流水	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	200	4.2	190	3.2	四之宮 25 (20) 柳島 25
	最大	290	8.7	280	8.0	
	最小	130	1.0	130	1.4	
COD (mg/L)	平均	100	9.9	110	9.2	四之宮 25 柳島 25 (20)
	最大	130	13	150	12	
	最小	72	5.4	72	5.8	
SS (mg/L)	平均	182	3.3	222	2.3	70 (50)
	最大	240	7.2	370	5.2	
	最小	136	1.4	136	1.0	
pH	平均	7.3	6.6	7.3	6.7	5.8~8.6
	最大	7.7	6.9	7.7	6.9	
	最小	7.0	6.4	7.0	6.4	
大腸菌群数 (個/cm ³)	平均	150,000	21	670,000	180	3,000
	最大	480,000	230	6,200,000	1,400	
	最小	71,000	1 未満	100,000	28	

(注)・BODは生物化学的酸素要求量、CODは化学的酸素要求量、SSは浮遊物質、pHは水素イオン濃度(水素指数)を表す。

・排水基準は、水質汚濁防止法又は神奈川県生活環境の保全等に関する条例の基準値で、()は日間平均値(1日の平均の値)を示す。

b 酒匂川流域下水道水質測定結果

処理場 主な項目		酒匂		扇町		排水基準
		流入水	放流水	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	180	2.2	130	3.0	25 (20)
	最大	280	4.8	170	4.8	
	最小	120	1.2	98	1.8	
COD (mg/L)	平均	96	7.4	84	10	25
	最大	130	9.4	100	14	
	最小	60	5.6	68	7.6	
SS (mg/L)	平均	180	1.0 未満	149	2.7	70 (50)
	最大	264	2.1	180	4.5	
	最小	116	1.0 未満	114	1.4	
pH	平均	7.4	6.5	7.3	6.7	5.8~8.6
	最大	7.9	6.8	7.7	7.0	
	最小	7.0	6.4	7.0	6.4	
大腸菌群数 (個/cm ³)	平均	180,000	29	169,000	150	3,000
	最大	390,000	170	3,400,000	1,000	
	最小	65,000	1	42,000	10	

(注) 相模川流域下水道の注記に同じ。

ウ 汚泥処理

(ア) 汚泥等発生量

汚泥等は、次表のとおりです。

流 域	処理場	汚泥等発生量 (t/年)		増減 (前年比%)
		令和元年度	平成 30 年度	
相模川	四之宮	56,961	56,278	683 (101.2%)
	柳 島	120,755	120,541	214 (100.2%)
	計	177,716	176,819	897 (100.5%)
酒匂川	酒 匂	19,876	19,886	△10 (99.9%)
	扇 町	7,936	8,120	△184 (97.7%)
	計	27,812	28,006	△194 (99.3%)
合 計		205,528	204,825	703 (100.3%)

(注) 汚泥等は、脱水汚泥、沈砂・スクリーンかすを表す。

(イ) 焼却灰等処分量

焼却灰等は、全量資源として有効利用しました。

流 域	処理場	焼却灰等処分量 (t/年)		増減 (前年比%)
		令和元年度	平成 30 年度	
相模川	四之宮	1,715	1,788	△73 (95.9%)
	柳 島	2,841	2,786	55 (102.0%)
	計	4,556	4,574	△18 (99.6%)
酒匂川	酒 匂	1,252	1,696	△444 (73.8%)
	扇 町	180	201	△21 (89.6%)
	計	1,432	1,897	△465 (75.5%)
合 計		5,988	6,471	△483 (92.5%)

(注) 焼却灰等は、乾灰、加湿灰、焼却沈砂、脱水汚泥を表す。

エ 放射能対策

焼却灰等の放射能濃度や処理場敷地境界線の放射線量を測定し、適正な管理を行いました。

オ 施設等の管理

定期的な健全度診断や調査結果に基づき、設備機器や幹線管渠について、適正な管理を行いました。

カ 設備機器の点検・補修等

精密点検基準等に基づき、設備機器について計画的に修繕を行いました。
また、日常点検等により状態を把握し、適切に補修を行いました。

キ 危機管理対応

「神奈川県下水道公社業務継続計画（BCP）」に基づき訓練を実施し、危機管理体制の充実に努めました。

ク 環境対策

焼却炉排ガス等測定調査を実施するとともに、処理場周辺への臭気の影響及び放流水質の安全性を調査し環境保護に努めました。

(ア) 焼却炉排ガス等測定調査

大気汚染防止法に基づき調査を行い、法令を遵守していることを確認しました。

(イ) 敷地境界線等臭気測定調査

処理場周辺の臭気調査を行い、施設の健全なる管理に努めました。

< 敷地境界等臭気調査結果 >

流域	処理場	調査地点数	臭気指数 (最小～最大)	悪臭防止法 規制基準値
相模川	四之宮	5 地点	10 未満	15
	柳 島	6 地点	10 未満～13	15
酒匂川	酒 匂	4 地点	10 未満	15
	扇 町	4 地点	10 未満	15

(注) 臭気指数の「10 未満」は定量下限値未満を表す。

(ウ) クリプトスポリジウム測定調査

人体に影響を及ぼす恐れのあるクリプトスポリジウムについて、流入水及び放流水を調査した結果、含まれていないことを確認しました。

ケ 施設見学

小学校、自治会、地域の方々などの施設見学を随時受けました。

施設の案内とともに、当社が作成したパワーポイントや下水道 PR 用 DVD などを活用し、下水道の役割などを説明しました。

<処理場施設見学者内訳>

(人)

流域	処理場	行政機関	学生		一般	団体	計
			小学生	その他			
相模川	四之宮	36 (27)	144 (234)	26 (71)	33 (37)	0 (0)	239 (369)
	柳 島	94 (252)	1,361 (1,506)	175 (298)	106 (104)	100 (22)	1,836 (2,182)
酒匂川	酒 匂	6 (51)	189 (358)	2 (0)	48 (20)	0 (0)	245 (429)
	扇 町	0 (39)	213 (105)	4 (0)	15 (13)	0 (8)	232 (165)
合 計		136 (369)	1,907 (2,203)	207 (369)	202 (174)	100 (30)	2,552 (3,145)

(注) () は、前年度の見学者数

コ 下水道ふれあいまつり

処理場施設見学、下水道学習室、地域の方々による演奏・踊りなど、多くの方々に参加していただき、親しまれる下水道となるよう毎年実施してきました「下水道ふれあいまつり」は、台風 19 号後の大雨が警戒される中、関係機関が被害の拡大防止にあたることを最優先する必要が生じたため中止しました。

<第 24 回 下水道ふれあいまつりの開催概要 (中止) >

開催年月日	令和元年 10 月 19 日 (土)	
共催・協力	共催 神奈川県、下水道公社 協力 相模川及び酒匂川流域関連市町	
開催場所 ・来場者数	相模川流域 四之宮水再生センター (四之宮ふれあい広場)	— 人 (柳島 : 1,149 人)
	酒匂川流域 扇町水再生センター (扇町しらさぎ広場)	— 人 (酒匂 : 832 人)
計		— 人 (1,981 人)

(注) 来場者数の () は、前年度の実績

サ 水質規制支援業務

特定事業場等の監視・指導業務を行う流域関連市町及び排水基準を守るための水質管理を行う事業場の担当者を対象に研修会を実施しました。

また、流域関連市町が行う特定事業場等の施設検査や水質異常時の原因究明調査の技術支援 (アシスト下水道) を行いました。

(ア) 研修会の開催

a 水質規制担当者特別研修会

<水質規制担当者特別研修会実施状況>

開催日	令和元年11月14日(木)
開催場所	四之宮水再生センター
対象者	県及び流域関連市町の水質規制担当職員
受講者数	22人
内容	(1) 有害物質等の基礎講座 (2) 水質実習(採水方法や簡易分析等) (3) 水質異常の対応事例(事例報告)【外部講師:茅ヶ崎市】 (4) 水質規制に関するディスカッション

b 事業場排水担当者研修会

<事業場排水担当者研修会実施状況>

開催日	令和元年12月4日(水)
開催場所	四之宮水再生センター
対象者	相模川流域右岸処理区の実業場排水処理担当者
受講者数	60人
内容	(1) 下水道法の概要について (2) 下水処理場での処理の限界について (3) 水質異常等対応のディスカッション (4) 下水処理場の現地見学について

(イ) 水質規制技術支援業務(アシスト下水道)

<技術支援業務実施状況>

(件)

流域名	水質分析等	立入同行	相談・提案等	施設検査	合計
相模川	16	4	37	25	82
酒匂川	2	3	29	12	46
合計	18	7	66	37	128

(ウ) パンフレットの作成及び配布

公共下水道を使用する場合の排水に係る水質規制のあらましや届出などについて、解りやすく説明したパンフレットを作成し、公共下水道を使用する事業者の皆様にご利用していただけるよう、事業者と流域関連市町に配布しました。

(2) 下水道の水質分析等受託事業

相模川及び酒匂川流域に関連する市町から特定事業場等の下水の水質分析を受託しました。

＜特定事業場等水質調査業務受託概要＞

区分 流域	受託市町数			調査箇所数			水質分析数		
	元	30	増減	元	30	増減	元	30	増減
相模川流域 関連市町	7	7	0	112	114	△2	7,228	7,869	△641
酒匂川流域 関連市町	6	6	0	41	38	3	2,585	2,892	△307
計	13	13	0	153	152	1	9,813	10,761	△948

3 自主事業

多くの方に下水道への理解と関心を深めていただくための普及・啓発活動及び下水道関係者の知識や技術力の向上を目的とした研修を行いました。

また、維持管理技術の向上と運営の効率化を図るため、調査研究を行いました。

(1) 下水道知識普及啓発事業

ア 下水道作品コンクールの実施

流域関連市町の小学校4年生を対象として、作文、ポスター、書道の作品を募集するコンクールを実施しました。

応募された作品の中から入賞者を表彰するとともに、入賞作品の広報への活用を行いました。

＜下水道作品コンクール表彰式＞

- ・開催日 : 令和2年2月8日(土)
- ・開催場所 : 小田原市民会館

＜作品応募・入賞数＞

区分	作文	ポスター	書道	計	備考
応募数	124 (122)	632 (790)	3,002 (3,524)	3,758 (4,436)	参加学校数 : 165 (172) 参加市町数 : 21 (21)
入賞数	10	20	40	70	

(注) () は、前年度の実績数

イ 下水道教室の実施

(ア) 下水道出張教室

流域関連市町の小学校へ公社職員が出向き、4年生の授業の中で下水道の果たす役割や仕組みなどを説明するとともに、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物の観察をしました。

<下水道出張教室実施結果>

学校数	クラス数	人数
23校 (23校)	58クラス (53クラス)	1,805人 (1,623人)

(注) () は、前年度の実績数

(イ) 夏休み下水道教室

県内在住の方を対象として、下水道の果たす役割や仕組みなどの説明、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物の観察、水の汚れ具合を簡単に見分ける簡易的な水質実験及び下水処理場の見学などを4回実施しました。

<夏休み下水道教室実施結果>

流域	開催場所	実施日	参加者数
相模川	四之宮水再生センター	令和元年7月30日(火)	54人 (44人)
	柳島水再生センター	令和元年8月10日(土)	49人 (39人)
酒匂川	扇町水再生センター	令和元年8月2日(金)	34人 (28人)
	酒匂水再生センター	令和元年7月26日(金)	31人 (46人)
計			168人 (157人)

(注) () は、前年度の実績数

(ウ) 「下水道サポーター」講座～小学校教員向け下水道教室～

小学校の教員の方々を対象に、汚れた水をきれいにする仕組みや汚れた水の判定、処理場の見学など、下水道について学び体験する講座に参加していただき、理解を深めていただくとともに、この講座では、授業の中で子供たちの理解と関心が高まるような情報や資料を提供しました。

<「下水道サポーター」講座実施結果>

開催場所	実施日	参加者数
四之宮	令和元年7月29日(月)	1人

ウ 市町主催の環境イベント等への参加

流域関連市町が主催する環境に関するイベント等に参加し、来場者に下水道の果たす役割や仕組みなどを説明するとともに、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物を観察していただき、環境に対して下水道が果たす役割について PR しました。

<市町環境等イベント参加結果>

市 町	イベント名	参加日	公社ブース 来場者数
平塚市	平塚市緑化まつり	4月27日～28日	727人
座間市	座間市緑化祭り	4月29日	266人
伊勢原市	いせはら環境展	5月11日	401人
南足柄市	環境フェア	6月22日 (6/19～22)	213人
相模原市	さがみはら環境まつり	6月30日	500人
茅ヶ崎市	ちがさき環境フェア	10月5日	425人
中井町	美・緑なかいフェスティバル	10月20日	436人
藤沢市	ふじさわ下水道フェア	10月20日	483人
厚木市	あつぎ環境フェア	10月20日	174人
秦野市	秦野市市民の日	11月3日	550人
大井町	大井町環境展	11月10日	86人
寒川町	寒川町産業まつり	11月17日	1,041人
愛川町	環境フェスタ	11月17日	202人
二宮町	湘南にのみやふるさとまつり	11月17日	531人
松田町	まつだ産業まつり	11月24日	418人
合計 (9市6町)			6,453人

(注) 前年度は、8市4町で実施 合計4,995人

<その他のイベント参加結果>

主 催	イベント名	参加日	公社ブース 来 場 者 数
かながわ発・中高生のた めのサイエンスフェア 実行委員会	かながわ発・中高生のた めのサイエンスフェア	7月13日	218人
四之宮地区自治会連合 会	四之宮地区ふれあい夏 まつり	8月4日	— 人

エ ホームページによる情報発信

汚れた水をきれいにする下水道の仕組みや施設の概要、地域の方々に利用して
いただける広場やテニスコートなど様々な情報を発信しました。

<主な項目>

- ▶下水道の維持管理
- ▶下水道のしくみ
- ▶お知らせ
- ▶イベント情報
- ▶公社のご案内
- ▶入札情報

(2) 下水道担当職員研修事業

県及び市町村の下水道事業を所管する担当職員を対象に、次の研修会を実施しま
した。

<下水道担当職員研修会実施状況>

研 修 会 コース名	開催年月日	対象者 (受講者数)	内 容 (開催場所)
一 般	令和元年6月14日	主に経験5年 未満の職員 (92人)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道法と関連法規 ・下水処理場の仕組みと水質管理 ・下水処理場の見学 (四之宮水再生センター)
専門技術	令和元年11月18日	主に経験5年 以上の職員 (26人)	<ul style="list-style-type: none"> ・新東名高速道路秦野サービスエ リア建設工事現場の視察 (秦野市) ・箱根小田原幹線下水道工事現場 の視察 (小田原市)
管 理 者	令和元年8月23日	主に幹部職員 (38人)	<ul style="list-style-type: none"> ・下水処理場の津波災害対策～東 日本大震災から学ぶ下水道強靱 化～ ・防災気象情報の利活用について ・公社調査研究発表(2件) (四之宮水再生センター)

(3) 汚水・汚泥処理技術調査研究事業

職員がこれまで蓄積してきた豊富な経験や専門的な知識に基づき、維持管理上の

技術的な課題やコストの削減などについて調査研究を行いました。

また、研究成果は、日々の維持管理に反映させるとともに、調査研究報告書にまとめ研究発表会で発表しました。

ア 調査研究実施概要

次の3項目について調査研究を行いました。

(ア) 水質異常時における活性汚泥適合試験に関する調査

実施所属	目的	結果
四之宮、柳島、酒匂、扇町水再生センター	異常水の流入時において、処理機能への影響を判断するため実施している「活性汚泥適合試験」の判断指標を確立することを目的に、調査を実施し指標の検討を行いました。	<p>水質異常時の判断指標とする活性汚泥あたりの酸素利用速度は、通常の処理状況ならば概ね緩やかに上昇する範囲内にあり、変動幅は少ないことが分かりました。</p> <p>また、水質異常時に速やかに処理機能への影響判断を行う必要があることから、迅速に誰でもできるように試験手順を改良しました。</p> <p>これにより、処理場において異常水が流入した場合に、迅速に分析ができるとともに活性汚泥確保の判断基準を通常時の酸素利用速度から半減した時を異常とし、活性汚泥確保の指標とすることとしました。</p>

(イ) 流域下水道幹線の水質調査における安全対策に関する検証

実施所属	目的	結果
水質課	処理場流入水質を把握するため、流域下水道幹線の水質調査(採水)を主に道路上で行っていますが、道路交通法の改正を踏まえ、より安全で効率的な採水方法について検証を行いました。	<p>平成27年4月に策定した「幹線マンホール採水時の安全マニュアル」について、特に墜落危険性に係る課題等について検証を行いました。</p> <p>その結果、墜落防止器具の設置の義務化とフルハーネス型の安全帯の着用や人孔内昇降時に墜落を抑制する器具の装着及び</p>

		人孔内作業を極力減らす工夫、夜間作業に関する安全対策などを検討し、マニュアルなどの改正を行いました。
--	--	--

(ウ) 焼却炉の焼結対策に関する検討

実施所属	目的	結果
酒匂水再生センター、業務課	酒匂水再生センターにおいて、平成30年5月に焼却炉内部で流動砂の焼結が確認されました。焼結は、汚泥中のリンが関与しその詳細なメカニズムは明らかになっていない中、ポリ鉄の注入が有効であることが分かっています。そこで、最新の情報の収集や汚泥成分分析を行い、ポリ鉄の注入方法等有効な焼結対策について検討しました。	<p>ポリ鉄の注入量を変えた脱水汚泥の成分分析を実施しましたが、ポリ鉄を注入しない脱水汚泥でも焼結の危険性はないという評価値が出ました。また焼結テストにおいても焼結は確認されませんでした。</p> <p>6月から翌年2月までの脱水汚泥のりん濃度の変動を調べたところ、濃度変動が大きくポリ鉄の注入量とは相関しないことがわかりましたが、りん濃度は夏場に低下し2月以降上昇することがわかりました。</p> <p>今回の調査では有効な対策は確立できませんでしたが、今後も引き続き焼結対策について検討していくこととしました。</p>

イ 研究発表

(ア) 研究発表

次のとおり研究発表を行いました。

<発表会：第56回下水道研究発表会>

主 催	公益社団法人日本下水道協会
実 施 日	令和元年8月8日
開 催 場 所	パシフィコ横浜（横浜市）
発 表 テ ー マ	事業場の1,4-ジオキサン水質検査実施対象範囲の検討について

(イ) 調査研究報告書の作成・配布

公社内情報提供コーナーに備え置き、また、公社ホームページにも掲載しました。

<調査研究報告書> *電子データとして作成

名 称	調査研究報告書 (第 37 号)
掲 載 内 容	①汚泥処理返流水を考慮したポリ硫酸第二鉄添加量の最適化について ②流域関連市町と連携した悪質水排出先の特定に関する検討

<管理部門>

1 職員の状況

(令和2年3月31日現在)

組 織	長の氏名	構 成 職 員 数					
		事務	土木	機械	電気	化学	計
総 務 部 長	小柴義隆	1					1
業 務 部 長	川島由美子					1	1
総 務 課 長	(小柴義隆)	8					8
企 画 課 長	川原俊彦	1		1		2	4
業 務 課 長	(川島由美子)		1	1	1	1	4
水 質 課 長	伊藤幹生					7	7
四之宮水再生センター所長	渡部宏則		2	4	3	3	12
柳島水再生センター所長	西村佳裕		2	4	5	3	14
酒匂水再生センター所長	和田安雄		1	2	1	2	6
酒匂水再生センター 扇町駐在事務所長	五十嵐雄大			1	2	1	4
合 計		10	6	13	12	20	61

(注) 構成職員には非常勤職員を除く。

2 役員及び評議員の状況

ア 役員数

(令和2年3月31日現在)

役 職 名	常 勤	非常勤	計
理 事 長	1	—	1
常 務 理 事	2	—	2
理 事	—	6	6
監 事	—	2	2
計	3	8	11

イ 評議員数

(令和2年3月31日現在)

役 職 名	常 勤	非常勤	計
評 議 員	—	9	9

ウ 役員一覧表

(令和2年3月31日現在)

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	備考
理事長	中村正樹	常勤	
常務理事	田代秀行	〃	
常務理事	鈴木仁	〃	
理事	沼田芳基	非常勤	厚木市 都市整備部長
〃	武石昌明	〃	海老名市 理事兼まちづくり部長
〃	森美樹	〃	綾瀬市 土木部長
〃	天津稔	〃	南足柄市 都市部長
〃	橋本仁	〃	大井町 生活環境課長
〃	井上新	〃	開成町 まちづくり部長
監事	武井正純	非常勤	藤沢市 下水道部 参事兼下水道総務課長
〃	猪鼻久義	〃	公認会計士・税理士

エ 評議員一覧表

(令和2年3月31日現在)

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	備考
評議員	小林久司	非常勤	前 産業能率大学 情報マネジメント学部教授
〃	伊 興 亨	〃	北里大学 医療衛生学部講師、 博士、技術士(衛生工学部門)
〃	小 池 稔	〃	相模原市 都市建設局 下水道部長
〃	田 中 信 行	〃	平塚市 市長室防災・危機管理監
〃	石 井 謙 司	〃	小田原市 下水道部長
〃	越 野 明	〃	茅ヶ崎市 下水道河川部長
〃	秋 山 昌 弘	〃	神奈川県 湘南地域県政総合 センター副所長(兼)総務部長
〃	井 上 和 子	〃	神奈川県 県西地域県政総合 センター副所長(兼)総務部長
〃	近 藤 充 志	〃	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 下水道課長

3 理事会開催状況

<第1回理事会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び公益財団法人神奈川県下水道公社定款第35条第3項による理事会決議の省略

理事会の決議の内容

「評議員会の決議の省略についての承認の件」

「評議員会の決議事項（理事の選任の件）」

理事会の決議があったものとみなされた日

平成31年4月12日（金）

<第2回理事会>

日 時：令和元年6月11日（火）

場 所：公益財団法人神奈川県下水道公社（平塚市）

出席者数：理事8人

議 事：（第1号議案）平成30年度事業報告書及び決算報告書

（第2号議案）評議員会の招集の件

報告事項：(1)平成30年度第4回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行状況報告

(2)第5期経営改善計画 平成30年度実績状況報告書

<第3回理事会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第96条及び公益財団法人神奈川県下水道公社定款第35条第3項による理事会決議の省略

理事会の決議の内容

（第1号議案）令和2年度事業計画書

（第2号議案）令和2年度収支予算書

（第3号議案）公益財団法人神奈川県下水道公社職員給与規程の一部を改正する規程

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する同法第98条第1項による理事会への報告の省略

理事会への報告の内容

(1)専決処分事項の報告（令和元年度収支補正予算書、規程の一部改正）

(2)令和元年度第2回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行状況報告

理事会の決議及び理事会への報告があったものとみなされた日

令和2年3月25日（水）

4 評議員会開催状況

<第1回評議員会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項及び公益財団法人
神奈川県下水道公社評議員会運営規則第9条第3項による評議員会決議の省略

評議員会の決議の内容

「理事の選任の件」

評議員会の決議があったものとみなされた日

平成31年4月25日（木）

<第2回評議員会>

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条第1項及び公益財団法人
神奈川県下水道公社評議員会運営規則第9条第3項による評議員会決議の省略

評議員会の決議の内容

（第1号議案）平成30年度計算書類の承認の件

（第2号議案）任期満了に伴う評議員の選任の件

（第3号議案）理事の選任の件

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第195条による評議員会報告の省略

評議員会への報告の内容

(1)平成30年度事業報告書

(2)平成30年度収支補正予算書

(3)平成31年度事業計画書及び収支予算書

(4)第5期経営改善計画 平成30年度実績状況報告書

(5)第6期経営改善計画

評議員会の決議及び評議員会への報告があったものとみなされた日

令和元年6月26日（水）

5 情報公開

当社は、四之宮水再生センターに「情報提供コーナー」を設置し、以下に記載する各種公社情報について県民の自由閲覧に供しています。

<各種の公社情報（主な提供資料）>

- ・定款
- ・役員及び評議員名簿
- ・役員及び職員名簿
- ・事業計画書
- ・収支予算書
- ・事業報告書
- ・貸借対照表
- ・正味財産増減計算書
- ・財産目録
- ・収支計算書
- ・監査報告書
- ・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程
- ・経営改善計画
- ・各種パンフレット類
- ・その他下水道に関する情報誌 等

事業報告の附属明細書

公益財団法人神奈川県下水道公社定款第10条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に事業内容を細部にわたり記載しているため作成しておりません。